

2022年5月10日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

持続的な地域の発展に向けた東広島市への寄附の実施について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、2022年3月に東広島市(市長:高垣 廣徳)の「まち・ひと・しごと創成寄附活用事業(企業版ふるさと納税)」に対して、1,000万円の寄附(以下「当寄附」)を実施致しましたのでお知らせします。

東広島市は、国立大学法人広島大学(学長:越智 光夫、以下「広島大学」)と連携し、持続的な地域の発展と大学の進化をともに目指す広島大学・東広島市Town&Gown構想(※1)(以下、「T&G構想」)にて、自治体、大学、民間企業、起業家や投資家、市民と連携した産学官民連携エコシステムの構築を推進しています。

当寄附は、T&G構想の実現に向けて東広島市が広島大学と設置する「広島大学スマートシティ共創コンソーシアム(※2)」の基盤構築に活用いただくことを目的として実施し、昨日(5月9日)、当寄付に対し高垣市長より感謝状の贈呈を受けました。

当社は「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に掲げ、社会課題解決型の新たな金融仲介機能の発揮によって、地域経済の中軸を担う自治体、大学、企業等のステークホルダーの有機的な繋がりとなる結節点となり、地域経済エコシステム構築へ貢献することを目指しています。

こうした産学官民連携を通じた地域課題の解決やまちづくり等における資金供給と社会実装を支援していくことで、社会的価値を生み出す新たなイノベーションの創造に貢献していきます。

<5月9日 東広島市で開催された納税感謝状贈呈式>



※1 T&G 構想とは、タウン(街)とガウン(学生や教授たち)が一体となり、まちづくりや地域における SDGs の達成を目指すもの。2020 年4月 1 日、東広島市が広島大学と未来ビジョンの実現に向けて活動を行ってきた「広島大学×東広島市リージョナル・デザイン・チーム事務局」を改め、「Town & Gown Office 準備室」が設置された。

※2 広島大学スマートシティ共創コンソーシアムとは、持続可能な未来社会像実現のために、民間企業の持つ資源と行政機関のコミットメントを融合しながら、その成果を周辺地域に社会実装することでイノベーションを創出することを目的として設立されたもの。

以 上